

みしま野

総持寺本堂

総持寺は西国第二十二番札所の観音信仰霊場として夙に有名であるが、地元の我々は訪れる機会が少ない。「建築士の会 みしま野」のが公式訪問した事はなく、来年度辺り訪問する企画を考えてみたい。当山は補陀洛山と号し、寺伝では中納言藤原山陰が白檀の香木を購入し千手観音像を造って摂津国島下郡に一字を建立して安置、「総持寺」と名付けた事に始まる



小振りながらも威風堂々たる本堂

所在地：茨木市総持寺1丁目6番1号

最寄駅：阪急総持寺駅下車 徒歩約7分

当寺院は広く一般に公開している。開門6:00 閉門17:00

本堂内部に入る折には、寺務所にて問い合わせを。

TEL：072-622-3209

とされている。本堂の創建年代は諸説あり879年（元慶3年）ともされている。その後、1571年（元亀2年）白井河原合戦で織田信長軍により諸堂僧坊はことごとく焼失したが、1603年（慶長8年）豊臣秀頼の命により片桐旦元が奉行となって現存している本堂が再建された。平屋・本瓦葺きの小振りながらも威風堂々たる本堂の他に、境内には新しく建設された堂宇も点在しており、長い歴史を物語る伽藍の面影を偲ばせている。（神保 勲）